

お付き合いは---ing 樹木診断会の before/after

八千代台パークハイツ管理組合
今井 操

出会ってからすぐにお付き合いがトントン拍子に。。。？ お見合いの話ではありません。
『緑化推進協議会』との関係です。

昨秋、樹木管理の必要性、重要性に迫られて検索している中で巡りあったのが‘協議会’。問合せの電話したのが11月中旬で即、会長 満富さんが説明に駆けつけて下さり、直ぐに入会となりました。そして、何と12月8日には樹木医 大矢先生の樹木診断を受けると言う早業！

最大の懸案は樹齢約50年の30本余の桜でしたが、それよりも他の樹の倒木可能性の指摘を受けました。それにより、この5月に業者の剪定&伐採が実施されました。

幹に空洞があり、バス通りに面して、住民も危惧していた桜は惜しまれつつ根元からバツサリ。大きな切株には幾筋もの切込みが入れてあり自然と根が朽ちるよう施されています。他の桜も昔の剪定でぶつ切りにされ枯れてしまっていた枝や、大きなキノコが発生している枝は強剪定され切口には防腐剤が黒く光っています。

マテバシイ、サワラも伐採されました。芝生のスペースに植わっていたハナミズキも残念ながら伐採組。植木屋さんは切株が上部に残らない様、地面すれすれのカットでさすがの職人技。



近付かないとそこに存在していた事が分からない程で、痛々しい切株が見えないことで安らぎを覚えます。

これで取り敢えずの危険性が遠退いた少しの安心を得る事ができましたが、異常気象に対処すべき大きく繁った樹や高木、枯れ枝と虫食い葉で汚いサンゴジュ。。。などまだまだ管理上の課題が残っており協議会さんとのお付き合いは進行形。これからも宜しく願いいたします。